

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号: 3612 東証プライム市場)
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2024年2月期 (2023/4/1~2024/2/29)	上期							下期					通期		
	4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term	
売上前年比	伸び率 (%)														
国内小売売上	※1	105.4	105.7	105.0	111.5	111.1	99.6	106.3	102.1	107.0	101.6			103.5	105.2
店舗売上	※2	106.0	105.5	105.0	113.6	113.0	100.4	107.2	100.7	107.2	101.5			103.0	105.5
既存店売上	※3	109.7	109.2	108.4	118.2	118.2	102.7	110.9	103.7	※5110.6	104.1			106.0	108.9
Eコマース売上	※4	102.8	106.3	105.2	103.6	104.3	96.6	103.2	108.5	※5106.4	102.0			105.4	104.0
店舗数	店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,225	2,223	2,223	2,205	2,202	2,208	—	2,210	2,215	2,218			—	—
出店		11	0	1	2	4	11	29	4	6	4			14	43
退店		10	2	1	20	13	5	51	2	1	1			4	55
M&A		0	0	0	0	6	0	6	0	0	0			0	6
既存店対象店舗数	※3	2,086	2,094	2,091	2,067	2,049	2,048	—	2,052	※52,056	2,060			—	—

(注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております(ただし、緊急事態宣言に伴う臨時休業店や営業時短店は既存店の対象としております)。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2023年11月の既存店売上前年比が110.5%から110.6%へ、Eコマース売上前年比が106.5%から106.4%へ、既存店対象店舗数が2,055から2,056へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況)

休日数(前年差)

当月

+1

前年同月

+1

当月は、国内小売売上が前年同月比101.6%となり、内訳は店舗売上が同101.5%、Eコマース売上が同102.0%となりました。既存店売上は前年同月比104.1%でした。休日数の一日増は12月30日ですので、売上に対する休日影響は微小です。なお、既存店売上はコロナ禍前の2019年12月に対して92.2%となり、3Q(10~12月)の3ヶ月間でも2019年に対して9割超の水準に達しました。

当月は、中旬を中心に12月らしい寒さとはならなかったものの、上旬の滑り出しと下旬の駆け込みでリカバリーしました。全ての販売チャネルでプレセールから本セールまで好調だったこともあり、既存店売上は前年超過トレンドを持続しました。

EC販路においても中旬の気温影響で重衣料の動向が鈍かったものの、ニットなど他のアイテムで補ったブランドが健闘しました。セール訴求と運動した販促施策による集客効果もあり、Eコマース売上は前年超過の趨勢を維持できました。

アイテム別では、前半はハイネックやリブタートルなどシンプルなものが高稼働した一方、後半はウールコートや軽量ダウンの動向が活発でした。雑貨は極暖ソックスなど暖をとるアイテムに加えて、プレゼントに最適なギフトセットが浮上りました。

ブランド別では、「オペークドットクリップ」「THE SHOP TK」に代表されるSCブランドや「index」「デッサン」「イツデモ」「ラグタグ」など軒並み既存店売上で昨対2桁増と伸張したほか、高級バッグ「ヒロフ」「ヒロコハヤシ」の好調さが際立ちました。

お知らせ: 2024年2月期第3四半期決算発表(Tdnet及びホームページでの開示)は、2024年2月5日(月)の予定です。

(参考: 前期実績)

2023年3月期 (2022/4/1~2023/3/31)	上期							下期					通期			
	4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比	伸び率 (%)															
国内小売売上		127.7	149.8	112.2	116.9	130.2	136.0	127.5	131.8	117.6	128.7	141.7	152.4	105.2	126.8	127.1
店舗売上		124.1	156.2	108.3	111.9	128.0	133.6	125.1	126.8	112.5	124.3	134.4	149.6	105.2	122.6	123.7
既存店売上		119.5	150.7	109.3	109.4	120.0	118.0	119.8	111.9	100.8	107.7	120.5	134.3	112.4	112.6	115.6
Eコマース売上		144.7	127.7	130.1	140.1	138.8	145.3	137.4	158.0	141.2	149.5	168.7	161.4	105.3	144.9	141.5
店舗数	店															
月末(期末)小売店舗数		2,364	2,358	2,353	2,341	2,316	2,313	—	2,301	2,304	2,304	2,248	2,205	2,224	—	—
出店		14	1	0	2	3	10	30	4	5	1	0	0	22	32	62
退店		11	7	5	14	28	13	78	16	2	1	56	43	28	146	224
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25
既存店対象店舗数		1,569	1,577	1,577	1,568	1,539	1,533	—	1,541	1,550	1,553	1,497	1,460	2,083	—	—